

事前登録
受付中!!



主催／日本医学会
実行機関／第32回日本医学会総会

医学の レジリエンス

～みらいへの挑戦と貢献～
人生100年時代をどう生きるか



第32回 日本医学会総会 2027

学術講演会

2027 4/23(金)-25(日)

情報交換スペース
(学術展示)

2027 4/22(木)-25(日)

市民展示

いのち健康みらい博2027 -いのち輝く、その先へ-

2027 3/20(土)-28(日)

大阪市北区 中之島エリア 大阪国際会議場、リーガロイヤルホテル大阪 ヴィニエツト コレクション ほか

大阪市北区 うめきたエリア

会 頭
澤 芳樹
大阪大学 名誉教授
大阪けいさつ病院 総長

準備委員長
坂田 泰史
大阪大学大学院医学系研究科循環器内科学 教授
大阪大学医学部附属病院 病院長 1

市民展示

2027年3月20日(土)～28日(日) } 大阪市北区 うめきたエリア

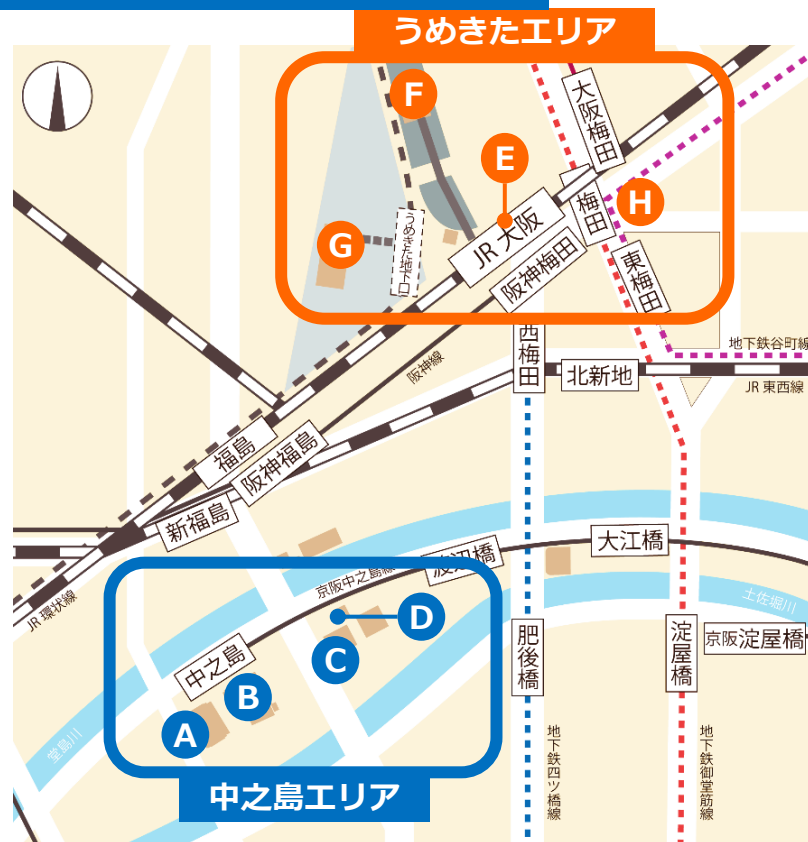
学術講演会

2027年4月23日(金)～25日(日)

情報交換スペース(学術展示)

2027年4月22日(木)～25日(日)

大阪市北区 中之島エリア



市民展示

うめきたエリア(3月20日～28日)

- E** JR大阪駅 時空の広場、アトリウム広場
- F** グランフロント大阪 ナレッジキャピタル イベントラボ、ナレッジプラザ
- G** グラングリーン大阪 ロートハートスクエアうめきた、サウスプラザ、PLAT UMEKITA(調整中)
- H** 阪急うめだホール、中央WEST広場(調整中)

学術講演会・情報交換スペース(学術展示)

中之島エリア(4月22日～25日)

- A** 大阪国際会議場
- B** リーガロイヤルホテル大阪 ヴィニエツト コレクション
- C** Nakanoshima Qross Qrossover Lounge 夢、コングレスクエア大阪中之島
- D** 大阪大学中之島センター

医学の レジリエンス

～みらいへの挑戦と貢献～

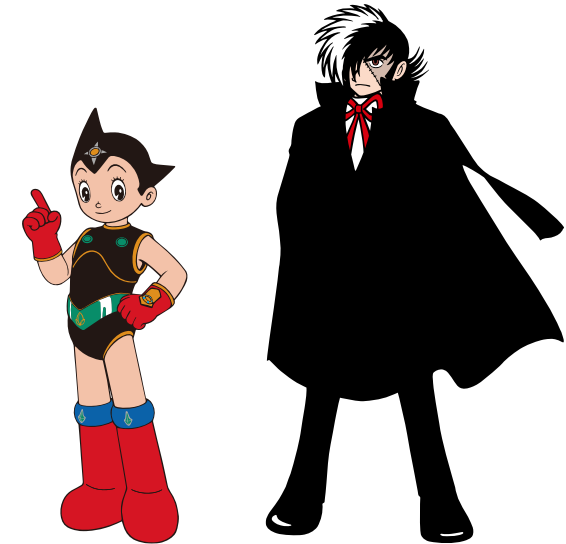
人生100年時代をどう生きるか

ゴリラより弱い人類が“弱さ”を“強み”に変えた「危機を生き抜く知」すなわち人類のレジリエンスの視座から、これからの人類社会における「より良き未来の選択」が重要である。

コロナパンデミックをのりこえたいまあらためて困難をしなやかに乗り越える応力・回復力すなわち「医学のレジリエンス」によって、これから「人生100年をどう生きるか」を主眼に、人類の未来への挑戦と貢献について議論されたい。



人が和やかに集い 熱気あふれる議論するさま
しなやかな起き上がり小法師を表現



大阪大学の大先輩である手塚治虫先生の
『ネオアトム』と『ブラック・ジャック』を
シンボルキャラクターに起用。

参加登録区分	参加方法	事前登録	通常登録
		2026/2/5 正午 ～2027/3/31	2027/4/1 ～2027/6/15正午
医師・歯科医師	現地+WEB	30,000円	35,000円
Under40（医師・歯科医師・研究者） ※開催初日に40歳未満の方	現地+WEB	20,000円	25,000円
Under30（医師・歯科医師・研究者） ※開催初日に30歳未満の方	現地+WEB	10,000円	15,000円
医薬情報担当者（MR）・企業	現地+WEB	40,000円	45,000円
研究者（非医師・非歯科技師）・行政（非営利） ※単位認定、産業医セッション申込対象外	現地+WEB	20,000円	25,000円
メディカルスタッフ （薬剤師・看護師・保健師・助産師・ 臨床検査技師・その他）・病院事務	現地+WEB	5,000円	8,000円
社会福祉士・介護福祉士	現地+WEB	5,000円	8,000円
大学院生（医師・歯科医師を除く）	現地+WEB	2,000円	3,000円
学部学生	現地+WEB	無料	無料

2026年2月5日(木)正午より
事前参加登録を開始いたしました。
奮って参加登録くださいますよう、
何卒よろしくお願い申し上げます。

※ 産業医セッションの受講申込は、
11月5日(木)正午より開始予定です。



←参加登録はこちらから

学術講演会の一部セッションは、オンデマンド配信を行います。

● 会 頭

澤 芳樹

大阪大学名誉教授、大阪けいさつ病院総長

● 副会頭

熊ノ郷 淳

大阪大学総長

寶金 清博

北海道大学総長

富永 悌二

東北大学総長

松尾 清一

東海国立大学機構機構長

岩井 一宏

京都大学副学長

藤澤 正人

神戸大学学長

赤司 浩一

九州大学副学長

越智 光夫

広島大学学長

南学 正臣

東京大学大学院医学系研究科 教授

北川 雄光

慶應義塾副学長・常任理事

加納 康至

大阪府医師会会長

● 準備委員長

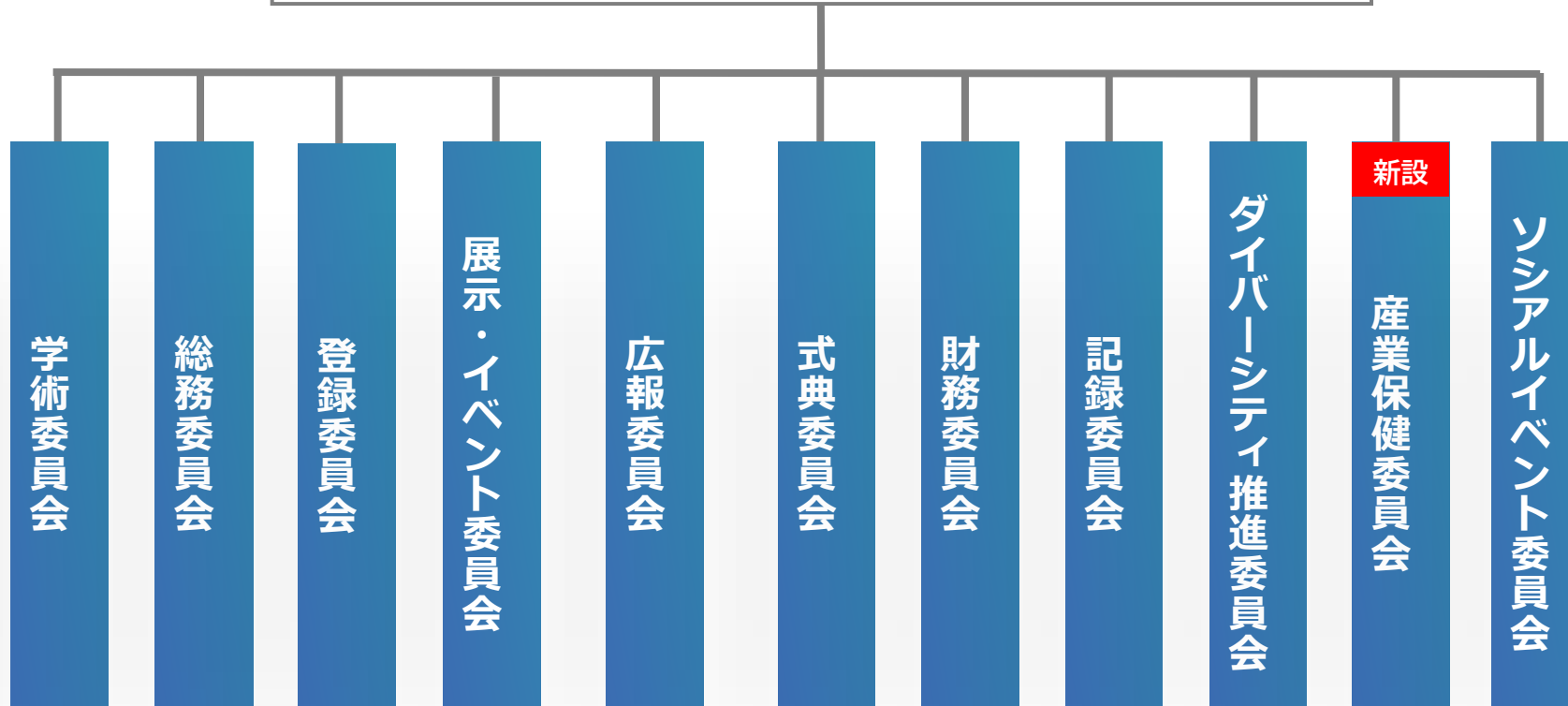
坂田 泰史

大阪大学大学院医学系研究科循環器内科学教授、大阪大学医学部附属病院病院長



第32回
日本医学会総会 2027
The 32nd General Assembly of the Japan Medical Congress 2027

組織委員会



●顧問

松本 吉郎	日本医師会会長
高橋 英登	日本歯科医師会会長
秋山 智弥	日本看護協会会長
岩月 進	日本薬剤師会会長
武田 泰生	日本病院薬剤師会会長
遠山 育夫	滋賀医科大学学長
夜久 均	京都府立医科大学学長
鶴田 大輔	大阪公立大学医学部医学研究科長兼医学部長
嶋 緑倫	奈良県立医科大学理事長・学長
中尾 直之	和歌山県立医科大学理事長・学長
木梨 達雄	関西医科大学学長
松村 到	近畿大学学長
矢野 貴人	大阪医科薬科大学医学部長
鈴木敬一郎	兵庫医科大学学長
中村 祐輔	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所理事長
大津 欣也	国立循環器病研究センター理事長

●参与

岸本 忠三	大阪大学 免疫学フロンティア研究センター免疫機能統御学 特任教授
平野 俊夫	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構理事長顧問
石田 隆行	大阪大学医学部保健学科長
山城 隆	大阪大学歯学部附属病院病院長
小比賀 聡	大阪大学薬学研究科・研究科長/学部長
遠山 正彌	大阪府立病院機構理事長
森 正樹	東海大学学長補佐

座 談 会 「医学のレジリエンス～絆～」

松本 吉郎 日本医師会長、および、門脇 孝 日本医学会長をパネリストに迎え、
澤 芳樹 会頭と北川 雄光 副会頭のモデレーター2名のもと、
日本医師会と日本医学会が一丸となって、みらいを切り拓く協働の可能性を探ります。



松本 日本医師会長



門脇 日本医学会長



澤 会頭



北川 副会頭



岸本 忠三 先生

大阪大学免疫学
フロンティア研究センター
免疫機能統御学 特任教授



山中 伸弥 先生

京都大学iPS細胞研究所
名誉所長・教授



坂口 志文 先生

大阪大学免疫学
フロンティア研究センター
実験免疫学 特任教授



柳沢 正史 先生

筑波大学
国際統合睡眠医科学
研究機構機構長



山極 壽一 先生

総合地球環境学研究所 所長



自見 はなこ 先生

参議院議員 医師



中村 祐輔 先生

国立研究開発法人
医薬基盤・健康・
栄養研究所 理事長



山崎 直子 先生

宇宙飛行士



松尾 豊 先生

東京大学大学院工学系研究科
人工物工学研究センター /
技術経営戦略学専攻 教授



中島 和江 先生

大阪大学医学部附属病院
中央クオリティマネジメント部



石黒 浩 先生

大阪大学大学院
基礎工学研究科 石黒研究室



安藤 忠雄 先生

建築家

日本医師会会長講演



松本 吉郎 先生
日本医師会 会長

日本医学会会長講演



門脇 孝 先生
日本医学会 会長

各会長講演



高橋 英登 先生
日本歯科医師会 会長



秋山 智弥 先生
日本看護協会 会長



岩月 進 先生
日本薬剤師会 会長



武田 泰生 先生
日本病院薬剤師会 会長



深田 拓司 先生
大阪府歯科医師会 会長



久坂部 羊 先生
小説家



仲野 徹 先生
大阪大学 名誉教授



吉森 保 先生
大阪大学 名誉教授



東上 震一 先生
徳洲会 理事長



小林隆太郎 先生
日本歯科医学会 会長



河北 博文 先生
日本医療機能評価機構
理事長

●映画監督

河瀬 直美 氏による心臓移植をテーマにした映画作品
「たしかにあった幻」上映会および講演会も開催予定！

【特別講演】

自見 はなこ 先生 参議院議員 医師

山崎 直子 氏 JAXA宇宙飛行士

Annika Östman Wernerson 先生
スウェーデン・カロリンスカ大学総長

中島 和江 先生 大阪大学医学部附属病院
中央クオリティマネジメント部教授

【招請講演】

河瀬 直美 氏 映画監督

登壇者の女性比率

32回登壇者(延べ人数)				
	全体数	性別	人数	女性比率
座長	266	男性	219	18%
		女性	47	
演者	566	男性	458	19%
		女性	108	
奨励賞 審査員		男性		調整中
		女性		
合計	832	男性合計	677	19%
		女性合計	155	

※2026年7月29日現在

★学術委員やU40委員が企画する「柱シンポジウム」においても積極的に女性の先生方にご参画いただいております。

座談会「地球環境と感染症」

忽那 賢志 先生(大阪大学)、五箇 公一 先生(国立環境研究所)をパネリストに迎え、磯 博康 先生(グローバルヘルス政策研究センター)と大曲 貴夫 先生(国立国際医療センター)のモデレータ2名のもと、コロナパンデミックを乗り越えた「レジリエンス力(リョク)」と今後の感染症対策などについて議論します。



磯 博康 先生



大曲 貴夫 先生



忽那 賢志 先生



五箇 公一 先生

座談会「医学の歴史探訪」

町泉寿郎先生(日本医史学会 理事長)と中村安秀先生(日本WHO協会 理事長)を迎え、医学が切り拓いてきた歴史を振り返ります。また、町先生には「医学が変えた近代日本」のテーマでご専門である江戸期の漢方医学を含めてお話しいただきます。加えて、上村洋行先生(司馬遼太郎記念館 館長)をお招きし、作家 司馬遼太郎の作品と素顔に迫ります。



町 泉寿郎 先生



中村 安秀 先生



上村 洋行 先生

シンポジウム「薬事承認にスムーズにいたる研究開発とは：医師が知っておくべきポイント」

医薬品医療機器総合機構(PMDA)理事長の藤原康弘先生をお招きし、日本で臨床治験・治験を行う意義を解説いただきます。その後、各演者よりドラッグロスの現状、日本・海外におけるベンチャー開発、企業が大学や公的研究機関の基礎研究成果や技術の獲得を判断するポイント、治験開始までに基礎研究で対応すべきこと、臨床試験プロトコル作成について解説します。



藤原 康弘 先生

シンポジウム「わが国の臓器移植のあり方とみらい」

座長に寺岡慧先生(東京女子医科大学 名誉教授)、布田伸一先生(東京女子医科大学 心臓血管外科学分野 教授)をお迎えし、江川裕人先生(浜松ろうさい病院 病院長)小柳仁先生(東京女子医科大学 名誉教授)、松山大耕先生(臨済宗妙心寺退蔵院 副住職)にご講演いただきます。また、移植を受けられた患者さんにもご登壇いただき、移植に至るまでの歩みやその後の生活、臓器提供への感謝など、それぞれの思いを語っていただきます。医療、患者、そして社会の様々な視点から日本の臓器移植医療の現状と課題を共有し、解決に向けて何ができるかを議論します。



松山 大耕 先生

シンポジウム「地域医療の現状と未来：関西公立私立医科大学・医学部連合の取り組み」

日本の社会課題の根底にあるのは少子高齢化であり、特に地域において急激に進行している。そして物理的に分散した地域住民に対しても、確実に医療を提供し、健康を守る体制の構築は日本における最優先の課題の一つである。また一方、医師・看護師・薬剤師・他のメディカルスタッフの地域偏在も、地域における医療提供に影を落としている。地域における医師確保のための地域枠制度も15年以上を経て、その振り返りも必要である。これらの課題は医療だけでは解決が困難であり、行政や産業界とも連携して取り組むことが必須となる。地域における医療体制の確保は、地方創成の根底を支えることは間違いなく、これらの足元の課題に対してどのような取り組みでこの課題に対応しているのか、また近未来の地域における医療提供体制をどのように構築していくかを議論し、今後の社会インフラの強靱化に資することを目的とします。

シンポジウム「フォーミュラの現状と展望 ～医師と薬剤師で作り上げる最適な薬物治療管理～」

医療の質と効率の両立が求められる中、医薬品の最適使用を推進する手段として「フォーミュラ」の整備が注目されており、医師と薬剤師が連携して、地域や施設の特応じた推奨薬を定め、持続可能な薬物治療管理体制を構築する取り組みが各地で進みつつあります。本シンポジウムでは、厚生労働省からの制度的視点、地域薬局・薬剤師会による実践例、さらには医療連携法人による広域的な導入事例を通して、現場に即した具体的な課題と可能性を探ります。また、特別発言として、医務技監の迫井氏を迎え、今後の制度展望についても議論を深めます。

熊ノ郷副会頭・岩井副会頭 「医学を問い、医療を拓くー研究者の歓びと使命」

本シンポジウムは、若手研究者・若手医師・医学部生に研究の魅力を伝え、次世代のphysician-scientistの育成と奨励を目的として企画されました。近年、医学部出身者の基礎医学研究志向は低下し、初期研修の必修化や専門医制度の変化、臨床業務の増加などが背景にあります。かつて生命医科学を牽引した医師による研究も今や減少しています。本シンポジウムでは、副会頭企画として異なる専門性をもつ4名の演者が登壇し、自身のキャリアや研究の魅力、継続する意義について語ります。本企画が、医療現場における“研究的視点”の涵養と若手医師の意欲向上、さらにphysician-scientistコミュニティの活性化に寄与することを期待します。



熊ノ郷 副会頭



岩井 副会頭

寶金副会頭・富永副会頭 「イノベーションと生命倫理」

AI、IoT、ICT、ロボティクスなどの技術革新が医学・医療を大きく進歩させる一方で、倫理的・法的・社会的な諸問題も増加している。そこで学際的に研究を行う第1人者の演者に講演いただき、みらいの持続的な発展に向けて議論したい。



寶金 副会頭



富永 副会頭

松尾副会頭・越智副会頭 「パラダイムシフト時代の大学像ーゲーム・チェンジは可能か？」

国連では2015年から2030年までの15年間の目標をSDGsとし、すべての国がその実現のために取り組むことが提唱されている。現代においては科学技術の進歩は著しく、特に人工知能(AI)の発達はすさまじい速度で進んでおり、社会の在り方を一変しようとしている。現実の社会では科学技術の進歩発展がSDGs達成に直接結びついてはならず、これを阻む深刻かつ解決困難な課題が多く存在している。大学は近代史において、知識の創造と普及、社会の発展、そして人材育成の中心的な役割を果たしてきたが、戦後70年を経て大きなパラダイムシフトが起きつつある現代社会にあって大学の果たす役割は何なのか、教育や研究を通じてウェルビーイング社会の実現にどの様に貢献できるのか、いま問われている。本シンポジウムでは、このような人類史的な背景とわが国が直面している課題を踏まえて、未来の大学像について様々な角度から識者に意見を述べていただき、これからの大学のあり方を考える。



松尾 副会頭



越智 副会頭

藤澤副会頭・赤司副会頭 「大学病院経営における課題と今後の在り方」

近年、赤字の増加、医療従事者の不足、地域医療をどう守るかなど、病院経営における課題が噴出している。本シンポジウムでは、特に大学病院に焦点をあて、4人の演者より、歴史的に大学病院が内包する根源的な課題、国立大学病院の課題、大学病院と公立・公的・一般病院との連携、および私立大学病院の課題について共有し、今後の在り方を考えていきたい。



藤澤 副会頭



赤司 副会頭

南学副会頭・北川副会頭 「いきいきとした人生100年時代を目指す医学・医療の新しいチャレンジ」

医学会として幅広い課題を議論するため、“医学研究力の向上”“医師の地域偏在・領域偏在”“医療のSustainability”を取り上げ、それぞれ外科系および内科系の観点から議論したい。



南学 副会頭



北川 副会頭

加納副会頭① 「次世代を担う医師と医師会の役割について」

高齢者の医療需要の増加に伴い、在宅医療の必要性は今後ますます高まることが見込まれる。このような状況において、患者にとって真に有益となる在宅医療のあり方、かかりつけ医と専門医をつなぐ存在であると同時に地域医療全体を支える総合診療医の役割、ならびに、勤務医など若手医師の医師会活動の視点から医師会の未来を議論したい。



加納 副会頭

加納副会頭② 「2040年を見据えた医療提供体制についてー病診連携と医師会・医学会のかかわり」

2040年には高齢化のピークを向かえ、65 歳以上の人口が全人口の約35%に達する見込みであり、生産年齢人口の減少も予測されている。高齢者に対する医療・介護の必要性が高まる一方、労働力人口の減少により医療従事者の人材確保が困難になり、医療資源が限られた状況下においては、医療・介護へのアクセス確保が課題となる。急増する医療需要に対応するためには、どのような医療提供体制が望まれるか、またその構築には、かかりつけ医や勤務医が果たすべき役割がいかに重要であるか、そのための医師会と医学会の関わり等についてご講演いただき、かかりつけ医と病院が連携した質の高い医療提供体制を構築する足掛かりになることを期待したい。

学術委員会企画・U40委員企画・分科会合同シンポジウム企画

- 柱1 創る:未来医療を創る革新技術とトランスレーショナルサイエンス(11 セッション)
- 柱2 活かす:先端医療の実装と医工連携による臨床革新(10 セッション)
- 柱3 挑む:がん・免疫・感染症に挑む統合的疾患戦略(13 セッション)
- 柱4 護る:ライフコース予防医学とウェルビーイングの創出(15 セッション)
- 柱5 支える:慢性疾患・臓器別医療と健康長寿への挑戦(18 セッション)
- 柱6 繋げる:持続可能な医療システムと社会実装(13 セッション)
- 柱7 深める:医学倫理・社会共創と人生の最終段階の医療(11 セッション)

産業保健委員会を新設 充実した産業医研修を提供いたします

- ・「2026年11月5日(木)」より参加登録システム上で受講申込み開始予定

受講料 : 5,000円 ※別途、本総会への参加登録が必須です

取得可能単位数 : 上限6単位まで

事前登録期間(予定) : 2026年11月5日(木)正午 ~ 2027年3月31日(水)

- ・実地講習を第31回より増やして開催

⇒産業医の実務に役立つ、人気のセッションを多数用意しています。

- ・土曜日午後のプログラムは14時開始とし、最大4単位を取得可能としております。

- ・全国の都道府県医師会および郡市区医師会にご協力をいただき、サテライト会場を設置します。

優れた業績を上げた若手研究者の表彰を行います。

- 日本医学会加盟の分科会から各々1～2名の候補者を推薦
- 基礎系、社会医学系、内科系、外科系の4領域に分類(分類は自己申告)
- 審査員による事前書類選考の上、各領域から5名程度の奨励賞受賞者を選出
- 奨励賞受賞者は、受賞講演にて研究内容をご発表いただく
- 受賞講演を審査の上、各領域から1名の「最優秀奨励賞」を決定
- 最優秀奨励賞受賞者の発表および授賞式は、2027年4月25日(日)に行う予定。

※要項および応募条件の詳細は総会HPをご確認ください。

本総会HPより
ご応募いただけます



受付期間: 2026年 5月 1日(金)～ 2026年 9月 30日(水)(必着)

**副 賞: 表彰状、記念品、賞金
(最優秀奨励賞 30万円 奨励賞 10万円)**

座談会「日本の地域医療」・・・さだまさし氏を迎えて

はじめに医師・作家である鎌田實先生にご講演をいただきます。その後、KISA2隊とともに、現在の日本の地域社会が抱える医療課題に目を向け、地域・法人・職種・世代を超えて互いに知見を共有、協働する可能性を座談会形式で探ります。私たちに何ができるかについても考えたいと思います。

また、本プログラムには、社会のために働く個人・団体や災害への支援活動を行う「公益財団法人 風に立つライオン基金」を設立された、シンガー・ソングライターのさだまさし氏の出演が決定いたしました。

ミニコンサートも予定していますので、
あの名曲が生で聞けるかもしれませんよ！？



鎌田 實 先生



さだまさし氏

日程： 2027年4月23日(金) 9:30～10:10

会場： 第1会場(大阪国際会議場 5F メインホール)

次第(予定):	開会宣言	第32回日本医学会総会 副会頭	熊ノ郷 淳
	開会の辞	日本医学会 会長	門脇 孝
	経過報告	第32回日本医学会総会 準備委員長	坂田 泰史
	式辞	第32回日本医学会総会 会頭	澤 芳樹
	来賓祝辞	日本医師会 会長	松本 吉郎
	来賓祝辞	大阪府知事	吉村 洋文
	来賓祝辞	大阪市長	横山 英幸
	来賓祝辞	関西経済連合会 会長	松本 正義
	閉式挨拶	第32回日本医学会総会 副会頭	松尾 清一

開会記念特別演奏会

日程： 2027年4月23日(金)開会式後

会場： 第1会場(大阪国際会議場 5F メインホール)

演奏： 千住 真理子 氏(ヴァイオリニスト)

12歳でデビュー。日本音楽コンクール最年少優勝始め数々のコンクールで最年少入賞を果たす。慶應義塾大学卒業後、国内外で本格的に活動を始める。2002年秋、ストラディヴァリウス「デュランティ」と運命的な出会いを果たし話題となる。2025年にデビュー50周年を迎えた。コンサート活動以外にも、テレビ、ラジオなどの出演や執筆活動、またボランティアなど社会活動など、多岐に亘り活躍中。



©笹口悦民

閉会記念特別演奏会

日程： 2027年4月25日(日)閉会式後

会場： 第1会場(大阪国際会議場 5F メインホール)

演奏： 大阪府医師会フィルハーモニー



コンgresバッグに大阪発のブランド「anello」のバッグを選定

学術講演会および情報交換スペース(学術展示)の現地参加特典として、コンgresバッグを先着順で配布いたします。

※5色の中から好きな色をお選びいただけます。



※キャリーハンドルを挟めて便利！

4月23・24日の夕方は大阪国際会議場 3Fにあつまれ！

情報交換スペース(学術展示)の会場である大阪国際会議場 3Fにて
4月23日(金)および24日(土)の夕方に「ハッピーアワー」を開催いたします

大阪名物のたこ焼き・お好み焼き・串カツ
といった粉ものに加えて、
ドリンクの提供も予定しています

ぜひお越しいただき、
参加者同士の交流を深めましょう



大阪中之島美術館でパーティーを開催します

日時：2027年4月24日(土)19:00～20:30

会場：大阪中之島美術館

司会：東 留伽(フリーアナウンサー／アーティスト)



歌手・堀内孝雄氏の
ミニコンサートを
予定しています



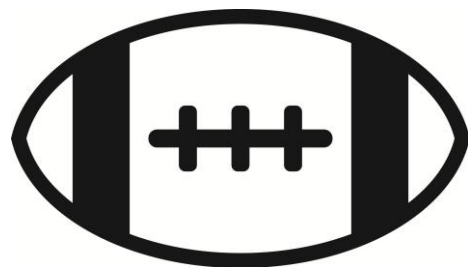
第32回日本医学会総会への参加登録があれば、
どなたでも参加可能です。(ネームカード必須)
軽食とお飲み物で皆さまをおもてなしいたします。

参加者同士の交流も大切に

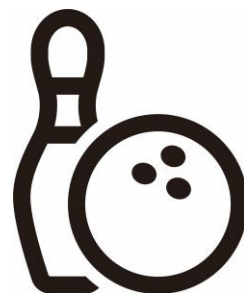
大阪府医師会の協力も得て、下記の10種目を準備中です



卓球



ラグビー



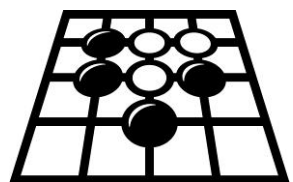
ボウリング



フィルハーモニー



ジョギング



囲碁



将棋



美術



柔道



アマチュア無線



第32回日本医学会総会

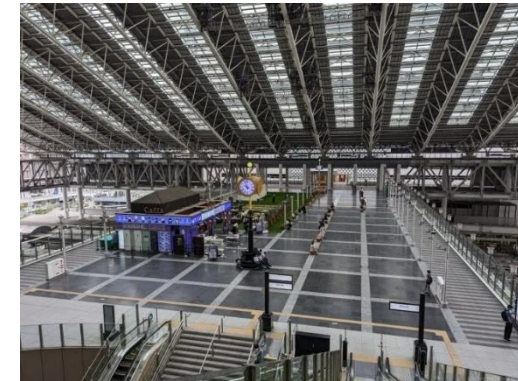
いのち
健康
みらい博
2027 いのち輝く、その先へ。

入場無料!

エキチカ・エキナカ施設での開催

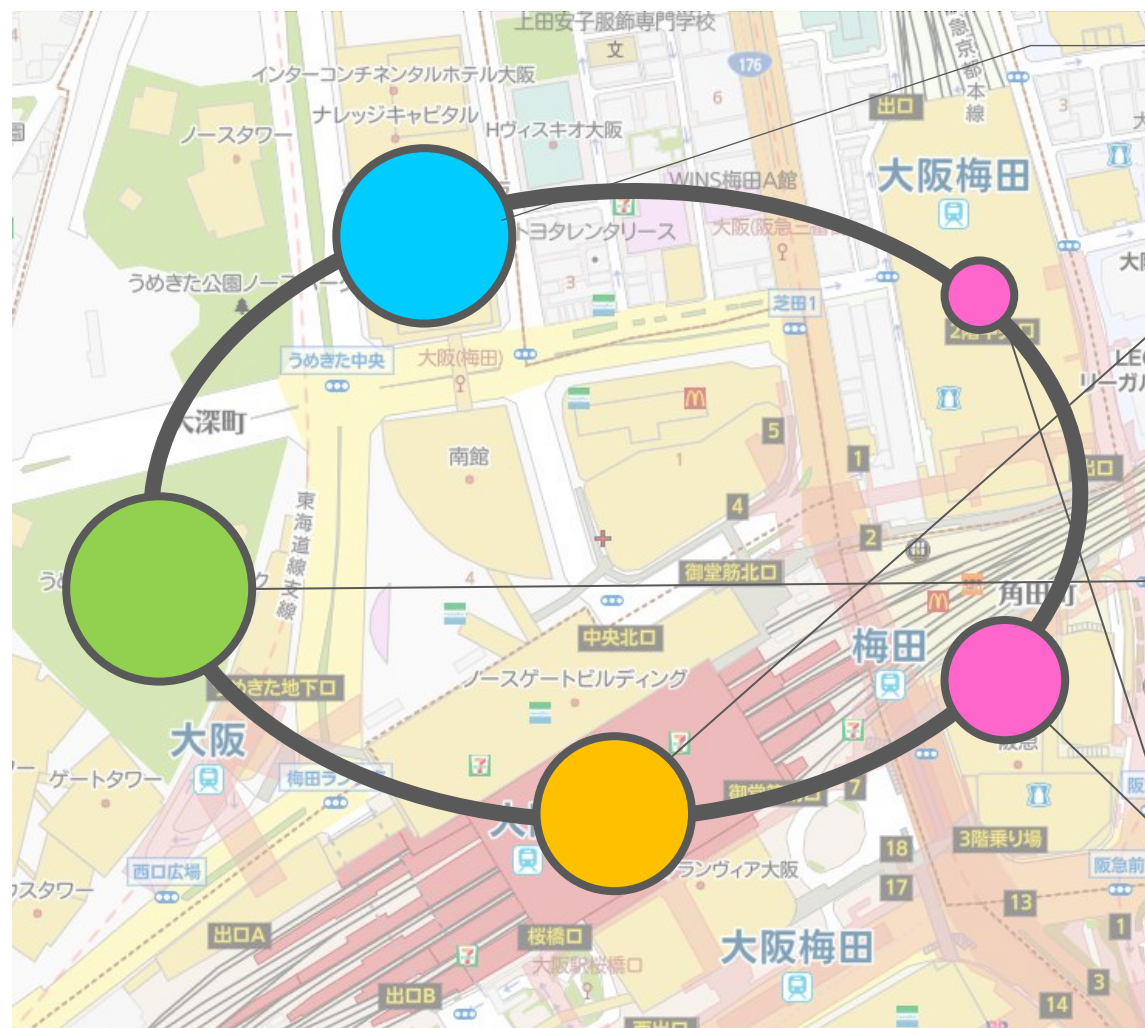
グランフロント大阪、グラングリーン大阪、
JR大阪駅 時空の広場、阪急梅田駅コンコース広場、阪急百貨店本店 など

入場無料！



参加者100万人超の市民展示・イベントを目指す

みらいに触れる、4つのゾーン



メディカルゾーン(グランフロント)



みらいドクターキャンプ

未来の医療を学び、体験し、育てる秘密基地

【場所】グランフロント大阪ナレッジプラザ、イベントラボ

フューチャーゾーン(時空の広場)



みらいタイムトラベル

医療とヘルスケアの未来へ続く旅 過去と未来が交差する広場

【場所】JR大阪駅 時空の広場、アトリウム広場

グリーンゾーン(グラングリーン)



みらいしあわせピクニック

開催日: 3/27(土)-28(日)

自然の中でウェルビーイングを感じる未来の公園

【場所】ロートハートスクエアうめきた、サウスプラザ、PLAT UMEKITA(調整中)

ライフスタイルゾーン(阪急梅田駅/阪急百貨店)



みらいデザインステーション

これからの健康的で豊かな暮らしを発信する拠点

【場所】阪急うめだホール、中央WEST広場(調整中)

■第32回日本医学会総会 事務局

E-mail: office@isoukai2027-osaka.jp

■学術講演会・情報交換スペース(学術展示)に関する問合せ先

第32回日本医学会総会 運営事務局

株式会社コングレ大阪本社 内

E-mail: isoukai2027@congre.co.jp

【全般について】

E-mail: isoukai2027-reg@m.congre.co.jp 【参加登録について】

■市民展示・イベントに関する問合せ先

第32回日本医学会総会 市民展示・イベント運営事務局

株式会社電通 内

E-mail: shimintenji2027@dentsu.co.jp

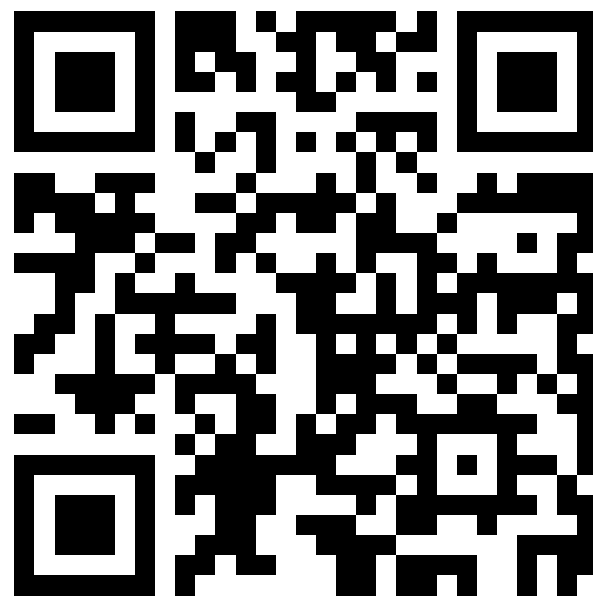
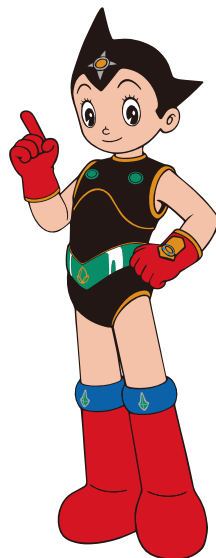


公式Instagram



公式X

皆さまからの参加登録を心よりお待ち申しあげます
ぜひ大阪へお越しください！



第32回
日本医学会総会 2027